

- 部長・行政連絡員合同会議……………2～4
- パイアスロン大会開催決定！……………5
- 各地区の青年会活動……………6
- 二唐久氏祝賀会／川柳北緯41°……………7
- 保健婦から……………8
- 村教育委員会事業から……………9
- シニア洋上セミナーに参加して……………10
- 談話室／行事予定……………11
- けっばる蓬田人／戸籍の窓口……………12

広報

よもぎた



1/8～10日雲谷スキー場

まずはボーゲン、新雪の上でスキー教室！

寒き夜や

折れ曲りたる北斗星

鬼城

お母さんに、中学生の息子から電話が来た。

「ウシロのウシという字、どう書くんだっけ」

さすがにお母さん、即座に隣（この辺りでは、北の隣家を後ろと言っている。）の家で牛を飼っていることに気がついて、「左ヘチヨンで、横、横、縦に長く」と教えた。ところが、かすかにその字を覚えていた息子は「？」と、絶句してしまった。

この話は、実話である。

お母さんが学校にいた頃には、「後」の字だけで「うしろ」と読んでいた。だから、「後ろ」の「後」という字をまさか「うしろ」と読み、送り仮名の「ろ」がつくと、夢にも思わなかったのである。世の中、簡単なことでも知らないことや、勘違いしていることが意外にあるものだ。

2月

1992

12月24日開催

部落長・行政連絡員合同会議

恒例の部落長・行政連絡員合同会議が、去る十二月二十四日午後一時から役場二階会議室で開催されました。

各部落からの要望、意見交換とそれに対する役場の応答をご紹介します。

会議は、八戸村長のあいさつ、会議の司会は坂本助役が担当して始まりました。

最初の質問は坂本祐一部落長会々々長でした。

Q1 村の農業が継続できるか？また、G.A.T.Tによる妥協案として部分的関税措置の場合には、一俵一万三千円ぐらいのため、我が村の基盤産業である米作の位置づけは？もし部分自由化の場合には村の方向づけは？

A (村長) 自然が相手の仕事であり、昭和五十五年からかなり痛めつけられてきた。米の自由化については、まっ

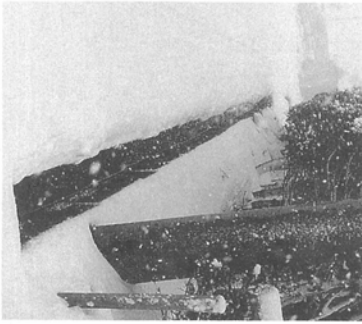
こうから反対している。また機械の共同利用、農地の集団化などにより対処したい。今

後予想される米の価格の低減は、トマト、畜産の振興等により補てん。今後は男子型の企業誘致を思っているが、道路状況により難しい。

A (助役) これからは水稻十Qで対応したい。

「要望」(吉田部落長) 村と農協が根本的に考え直して、牛をもっと増やしてほしい。

Q2 下水道整備の対策について



A (村長) 下水道については、県と協議により実施したい。高根については農業集落排水事業により対応したい。

は、排水事業により対応したい。



佐井部落長

〈高根〉

A (建設課長) 陸奥湾水域下水道整備促進協議会でコンサルに委託。三案が考えられ、①村単独②蟹田・蓬田で実施③青森・蓬田・蟹田の広域で実施。

Q3 農免農道の排水のみならず、用水路関係について現場を確認しながら実施してもらいたい。

A (村長) 土地改良区と担当課が協議して実施してほしい。当然用排水については対応していかなければならない。

A (農林水産課長) 長科、中沢までの中間の農免の用排水路が低い。工事後のため、村単独で実施しないと無理。

A (助役) 問題解消のため努力したい。

A (建設課長) 用地的に困難なので、検討したい。



Q1 国有林の乱伐等によって土砂が川に崩れて川床が浅い。とりあえず西股沢川に砂防ダムの建設ができないか。

A (建設課長) 補助事業でやれない事はないが、検討したい。

A (村長) 岩盤がないので、砂防ダムより営林署と相談して植樹の方がよいのでは。

Q2 部落の真中の橋の幅が狭く大型バスが通れないので、改修してほしい。

Q3 北部の農免道路は、高低の差が激しく、カーブが多いので改修してほしい。

A (農林水産課長) 改修は無理である。

〈広瀬〉

Q1 八幡宮に通じる道路の舗装と、また寺への道路を舗装してほしい。



川崎部落長



A (建設課長) 寺通りにつ

Q1 瀬辺地橋より板木沢川までの海岸線の排水が悪いので、県と相談して改修してほしい。

A (建設課長) 建設省では出来ないのですが、村単独でしか無理。現地の実態調査をした。

Q2 高坂商店の南側の排水が悪いので、排水路を改修してほしい。

A (建設課長) 前からの要望事項ですので、前向に検討



山館部落長

《瀬辺地》

いては、現地確認のうえ来年度検討したい。八幡宮は検討したい。

Q2 第七分団のポンプ車が古くなったので、購入してほしい。

A (総務課長) 早くて来年度、遅くても平成五年度には購入したい。

Q3 幼稚園の北側を流れる側溝が小さく、水が溢れるので改修してほしい。

A (建設課長) 現地を確認し、検討したい。

Q1 大字郷沢の土地について、個人に所有権を持てるように村で指導してほしい。

A (税務課長) 法的には村のものですが、もし個



高田部落長

《郷沢》

A (企画課長) 玉松開発の関係で解消したい。

Q4 高坂商店から民生会館までの国道側溝にフタを付けてほしい。

A (建設課長) 平成五年度の要望事項として県に要望していきたい。



工藤部落長

《蓬田》

A (建設課長) 東青漁港事務所と建設省にお願いしていきたい。

Q3 台風が来るたびに、消防団員が船や財産を守るため出動するが、団員全員にヘルメットを購入してほしい。

A (総務課長) 幹部会議で検討して実施したい。



人のものとするとしても測量経費や登記料がかかるので、検討させてほしい。

Q2 船揚場をつなぐ道路を建設省にお願いして舗装してほしい。



Q1 新しい墓地への道路を舗装してほしい。



八戸部落長

《阿弥陀川》

A (農林水産課長) 県と検討したが、農免道路が出来なければ無理である。



Q1 農免道路が出来たら、今の通学路をもう少し拡幅してほしい。



Q1 長科川の上流の河川を改修して真直ぐにほしい。



坂本部落長

《長科》

A (建設課長) 現地確認のうえ実施したい。

Q2 大倉岳へ行くための道路を舗装してほしい。

A (建設課長) 現在は砂利で対応して、将来は舗装するよう検討したい。

Q3 野藤さん方への排水にケーブルが通っているので、NTTへ連絡して移動してほしい。

A (建設課長) 元のNTTのケーブルだと思うので、現地確認したい。

A (建設課長) 課内で検討し、県と協議したい。

《中沢》



吉田部落長

Q1 村と青森市の境界である四戸橋の周辺整備及び標識を設置してほしい。

A (助役) 前向に検討したい。

Q2 津軽海峡線は開通したが、蓬田駅には下車が出来ないので、中沢駅に停車した列車から降りられないものか?

A (村長) 村では陳情しているが可能性は薄い。

Q3 公民館前のバス回転場所を舗装してほしい。



八戸村長

A (村長) 実施する方向で検討する。

Q4 分館活動として図書館活動しているが、関係者に部落から報酬を出しても受取らないので、村から報酬を支給してほしい。

A (教育長) 昨年から分館活動の補助金として、三万円から五万円に上げていて、報酬を含めて考えてほしい。

Q5 部落でひまわり等の花を植樹しているので、花いっぱい運動を展開している他町の情報がほしい。

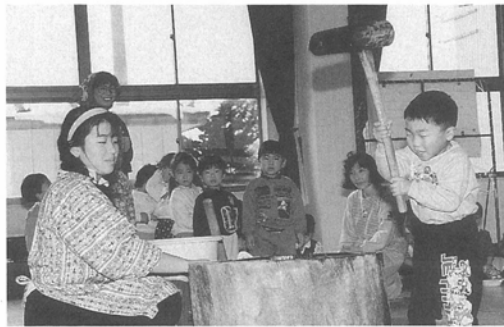
A (村長) 中里町等で小学生が花いっぱい運動等の活動をしているので、情報を提供していきたい。

出席者(敬称略)

- 中沢部落長 吉田清光
- 長科部落長 坂本祐一
- 阿弥陀川部落長 八戸一郎
- 蓬田部落長 工藤弘
- 蓬田行政連絡員 清水専逸
- 郷沢部落長 高田仁吉
- 瀬辺地部落長 山館誠弘
- 瀬辺地行政連絡員 越田久治
- 高瀬部落長 川崎君弘
- 高根部落長 佐井武道

子どもたちと徳誠園生がもちつきで交流会!

蓬田保育所



十二月十八日(水) 村保育所へ、青森市後潟の社会福祉法人「徳誠園(柿崎祐蔵園長)の園生六名と職員五名が訪れて子どもたちと、もちつきをして交流を深めました。

同園ではいつも慰問を受ける立場で、施設に対する地域の方々の深い理解と日頃お世話になってお返しに何かできないものかと、三年前から村幼稚園などを慰問しており、今年で四回目になります。

この日は、同園で職業指導の一環として実施している稲作作業で収穫したもち米二十キを持ち寄り、佐野敏昭指導

課長が「一生懸命汗を流して作ったお米です。楽しくもちつきをしましょう」とあいさつした後、よいしょ、よいしょ、がんばれ、がんばれと元

気よく掛け声を合わせて、もちつきが始まりました。

子どもたちも小さいきねを借りて代わる代わるもちをつき、つき上がったもちをちぎるなど実際に体験をしました。

全部で四うすをつき上げたあと全員が輪になって、きな粉もちとお汁粉にしておなか一杯ごちそうになりました。

最後にもちつきのお札に歌と遊戯を披露して楽しい交流会を閉じました。

蓬中卒業(19回生)

関東地区同期会結成

このほど、昭和41年蓬田中学校卒業の関東地区同期会結成の報告が寄せられた。

19回卒業生は百七十一名と多いが、これまでなかなか集まる機会がなかった。それが相次ぐ仲間の不幸にあつて、平成2年8月に一回目の同期会を開催、その際住所録を作成皆に配布したが、関東地区発会のきっかけとなった。

11月17日、東天紅(上野)に十四名の級友が出席、25年ぶりの再会を喜び、学校時代の思い出に話がはずんだ。これからも毎年一回、上野で開催することを決めたそうです。



バイアスロンINよもぎた'92 9月開催予定

昨年十二月、村観光協会会長（坂本祐一さん）が委員長のパイアスロンIN蓬田大会実行委員会が組織され、今、開催に向けて急ピッチに準備が進められています。

▼パイアスロンとは
海兵隊のスポーツ自慢が発

端になって、全部まとめて競技をしようと生まれたのがトライアスロンで、水泳・自転車・マラソンの連続競技ですが、パイアスロンとは、このトライアスロンをアレンジして誕生したマラソン↓自転車↓マラソンの連続競技です。

▼県三大会にしよう

今、全国的にパイアスロン愛好家がふえています。青森県では、三沢市と上北町で開催されているに過ぎません。事務局では、わが村を加えて県三大会にしたいと意欲満ちます。

▼開催予定

蓬田村で初めてのパイアスロン県大会は、九月中旬に開催する予定になっています。コースは、下の図のとおりです。

村総合グラウンドで開会のセレモニーが開かれ、蓬田中学校前をスタートして村の裏通りで競技が行われる予定です。

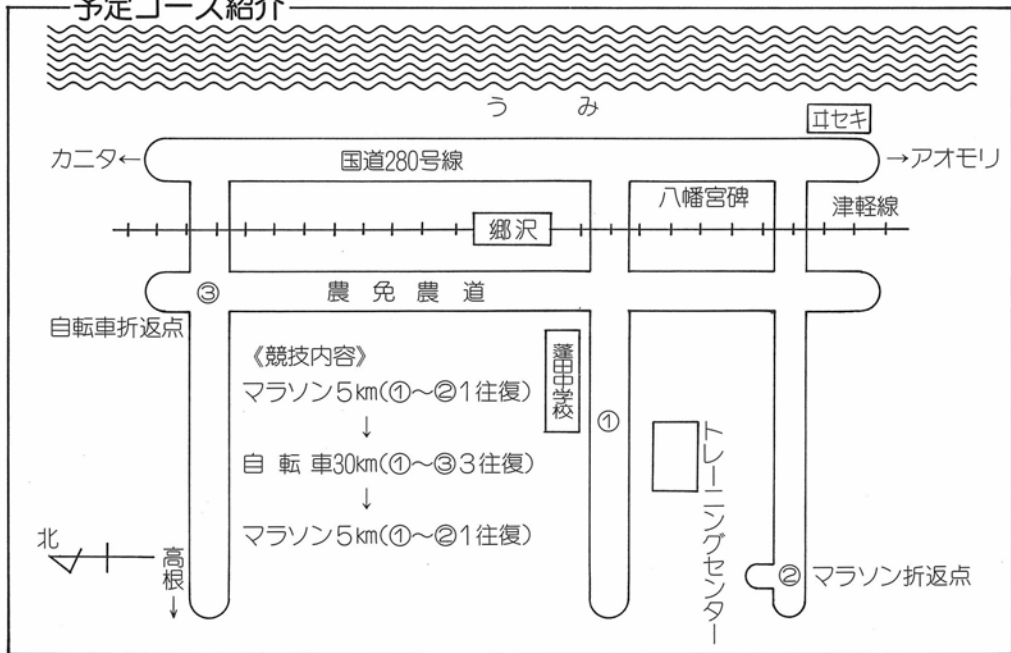
▼ボランティア募集中！

実行委員会では、当日の運営を手伝ってくれるスタッフを募集しています。選手の誘導や給水が主な仕事で、昼食とオリジナルテレホンカードが支給されます。高校生以上の方であれば男女を問いません。

連絡は、村観光協会事務局までお願いします。

（☎二七―二四五〇）

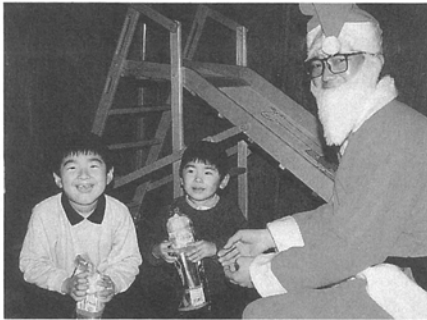
予定コース紹介



中沢青年会長がサンタクロースを演じて

子供達へクリスマスプレゼント!!

中沢青年会



十二月二十三日(月)中沢青年会(山口昭二会長)では子供会にまだ入会できない子供たち(〇才児から小学二年生)へクリスマスにプレゼントを送ることにしました。

このプレゼントをするきっかけとなったのは、地区会より青年会へ今年から五万円の補助金をいただくことになり、このお金を何か地域のために役立てようと会員の中から意見が出て、今回の実施となりました。

午後六時、小雨混じりの中、公民館前に集合した会員六名は、早々にプレゼントを配布する家庭の順路や、子供の人数を確認して自家用車にてスタートしました。

この日、準備したプレゼント用のお菓子入り長靴は全部



で六十個で、これを大きな袋に入れて、山口会長がサンタに変装しながら、各家庭を訪れ、「お父さん、お母さんの言うことを聞いて良い子になるんだよ」と一声かけながら、約三十軒の子供達へプレゼントを配りました。

突然現れたサンタクロースを見て喜んでプレゼントをもらおう子供や、泣出して親から離れない子供があつたりと、楽しい雰囲気の中で子供達へのクリスマスプレゼントを終了しました。

青年会では、これからもこの行事を継続して行きたいと話していました。

地域での青年の役割は、何んでもあるかを確認したひと時でした。

豊年を祈願して年縄づくり!

としなわ 広瀬青年会

毎年、広瀬地区では青年会の若者による八幡宮の鳥居用の年縄と八幡宮や公民館等公共物に奉納するしめ縄造りが行われています。

鳥居用の年縄は中ぐらいに太いものを長さ四メートル程に造ったものを三本より合わせた大きなものに、ぞうり、タルなど飾り付けたもので、会員一同の努力の作品です。

作業は、漁業を営む会員の船小屋で十二月下旬から每晚のように集まり行われ、先輩から受け継いだ、見様、見真似の手法で縄ない作業に精を出しました。

年縄づくりは、毎年恒例の

年越そばは今年も盛況!

広瀬青年会

広瀬八幡宮境内で大晦日、神社へお参りに来た参詣者へ年越そばを安価で食べてもらおうと実施して今年で三年目になりました。

新しい年を参詣者とともに祝い、そばを食べながら交流を図ろうと会員から出た案が、訪れる方に年々好評です。



青年会の役割で、会員同志の親睦を深める場でもあります。年越(12月31日)には、八幡宮に奉納し、来る年の豊年を祈願しながら、新たな気分を新年を迎えました。

会員は、男性ばかりでありませんが、味にはうるさく、グシ取りから頑張った結果、百人分準備したそばも早々に売切れとなり、会員一同満足。

会員は忙しいながらも皆和気あいあいと励み、これからも続けていきたいと意欲充分です。

長年の努力が実を結ぶ!

二唐久氏黄綬褒章受章祝賀会

十二月十五日(日)村農業者トレーニングセンターにおいて、二唐久氏の黄綬褒章受章を祝う祝賀会に約七十人が出席して祝いました。

二唐久(号・国吉)氏は弘前市の日本刀鍛刀技術家の二唐家出身で、昭和三十七年に蓬田村に移り住み、蓬田地区に二唐鍛刀所を構え、外が浜の砂鉄との出会いに始まり、玉鋼の研究を続け十年の歳月を費やしようやく玉鋼を完成しました。

刀剣製造一筋にこの道四十年間、今までに二百本の刀を



造り上げ、業務に精励したことににより黄綬褒章の受章に輝きました。

祝賀会では、発起人を代表して八戸良次郎村長が「受章は私たち村民一同の名譽であります。今後も健康に留意して頑張っていたください」とあいさつ、続いて清水信造村議会議長、藤巻健一美術刀剣保存協会青森県支部長からお祝いのことばをいただきました。

引き続き、ご夫妻に発起人を代表して坂本三行(中沢)さんより記念品の贈呈。親戚の方より花束のプレゼントがありました。

二唐氏より「受章できたのは村民の皆様のご支援ご協力の賜と感謝申し上げます。今後も精進を重ね地域のためにいささかなりともお役に立てるよう努力したい」とお礼のことばを述べました。

この後、沢田年榮村教育委員会教育委員長の音頭で乾杯して、参加者全員で二唐氏の功績をたたえあい、おめでとうございます。

社会福祉事業に役立てて!

村母親クラブ連絡協議会

十二月二十四日(火)村社会福祉協議会を、村母親クラブ連絡協議会(坂本藤枝会長)が訪れて、社会福祉事業に役立てて、小松事務局長へ三万円が手渡されました。

この寄付金は、十一月二、三日に行われた第十一回蓬田村民祭において、村母親クラブが初の試みとして行った、「ワンモア・ショッピング」の収益金で、今年も引き続き、母親クラブは毎年、寄付を行っており、今後もますますの活躍が期待されます。ありがとうございました。

小松事務局長は「このお金を地域の福祉向上のために有効に活用します」と感謝していただきました。



2月の土曜閉庁日は
8日と22日です。

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまで通りです。

鏡餅
しめ飾り
知恵菜
豊作を

母の知恵借り
餅を供いて
歳の数だけ
祈る菰玉

出来上がり
孫を待つ
食べた餅
紅と白

光子
勇三
絹枝
ちえ子

風呂上り
妻ちぎり
世の平和
ふるさとの

妻の餅肌
夫まるめた
祈ってつくる
よもぎの餅を

ちらり見え
鏡餅
供餅
宅急便

勝美
節子
増吉
お富

今年は雪が少なくて、喜んでる人、悲しんでいる人がいるのでは。村のスキー場も先日やっこ営業しました。

歯の健康をきそよら

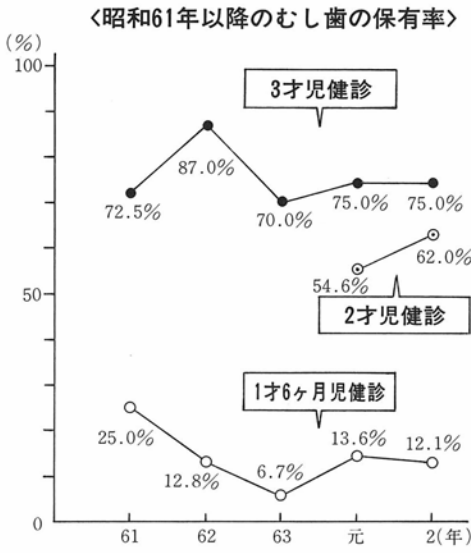
その1 子供の場合 (乳幼児)

人生80年時代、死ぬまで自分の歯で食べていく為に、80才まで20本の歯を残そうという「8020運動」が全国的な歯科保健運動として行われているのを、ご存じでしょうか。最後まで自分の歯でおいしく食べて行く為には、乳歯時代からの手入れが非常に大事だといわれています。そこで、今月・来月と2ヶ月に渡って、子供から大人までの歯の健康について考えていきたいと思います。まずは、歯の健康その1として蓬田村の子供たちの様子を見ていきましょう。

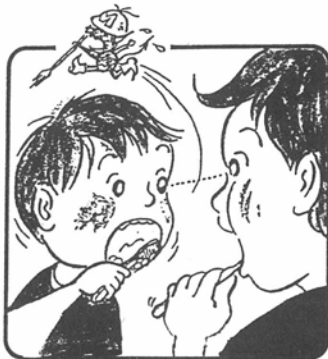
★健診でわかる歯の様子！
村では、1才6ヶ月児・2才児・3才児の幼児健診を行っています。子供の身体や精神の発達を確かめたりする他に、歯科診察も行う大事な機会となっておりますが、一向に減らないむし歯の状況を見ため息をついています。平成2年度の1才6ヶ月児健診では31人中4人(1割)であったものが2才児になると50人中31人(6割へ急増!)、3才児では28人中21人(7割強)の子供がすでにむし歯を持っています。1才6ヶ月から3才までのわずかに1年6ヶ月、どうしてこんなにむし歯が増えてしまったのでしょうか。

★育児で感じることは！
歯の良し悪しは歯質もありますが、生まれてから後の生活習慣の方がより大きな要素となっているといわれています。毎年健診をやっている事、毎食をいくつかあげてみますと、
①歯磨きは殆んどしているようですが、しあげ磨きは7割位しかやられていない。
②親子一緒に歯磨きがされにくい。
③おやつ時間を決めて食べさせるのが難しくガラガラと食べさせがち。
④乳歯はむし歯になってもはえかわるのでよいという考えが根強いなどです。

★これ以上むし歯を増やさない為に！
いくら頑張ってもできてしまう事はよくありますが、これ以上むし歯を増やさないよう努力する事は必要です。
①歯が生え始めたから歯ブラシ開始↓入まねを始める誕生前から乳歯用歯ブラシを遊び感覚で持たせましょう。ない場合はガーゼでふいてあげる。
②歯磨きはまねと遊びでなじませる↓子供はまねから日常生活行動を身につけます。子供と一緒に楽しく遊びのつもりで磨きましょう。歯磨きの効果を急いで求めると子供はにげ出します。
③しあげ磨きはお母さん↓子供だけでは歯は磨けていませんので点検して磨いてやりましょう。急いで強くやると痛いので歯磨きが嫌いになります。幼児健診で教わった磨き方を思い出してみましょう。
④子供が使いやすい歯ブラシを選ぶ↓幅の細いものは歯のかみあう部分からストンと落ちやすいので磨くのがいやになってしまいます。
⑤家族全員で口の中をきれいに↓夜寝る前には祖父母も一緒に磨きましょう(入れ歯を洗いまししょう)。
⑥おやつをのガラガラ食いはできるだけやめる。
⑦小さい頃からむし歯ができていないか点検し、年一回の定期検診を受ける事↓フッ化物やむし歯の進行を止める薬をぬつたり、奥歯のみぞをうめてもらう予防充填をしてもらうこともできますので、歯科医に相談してみますもよいでしょう。以上の事を参考に健やかに育つよう皆が協力しましょう。



★これ以上むし歯を増やさない為に！
いくら頑張ってもできてしまう事はよくありますが、これ以上むし歯を増やさないよう努力する事は必要です。
①歯が生え始めたから歯ブラシ開始↓入まねを始める誕生前から乳歯用歯ブラシを遊び感覚で持たせましょう。ない場合は



●目の高さにむきあって、同じ側に歯ブラシをもつ

ボクはむしば菌だ!

★子どもが使いやすい歯ブラシ

- えのりは広くにぎりやすい
- 毛足が短くこしがある
- 毛のたばが4列ある
- 歯毛部のはばが広いので安定する

●しあげ磨きはお母さん

のびのびと元気に書初め!

村教育委員会社会教育課が実施

一月七日(火)村教育委員会社会教育課主催の新春書初め大会が、ちびっこから一般まで七十人が参加して、村農業者トレーニングセンターにおいて開催されました。

奈良尹教育長より「元氣いっぱい書いてほしい」と激励を受けた後、この日指導して

くれた坂本毅(中沢)さんが、始まる前に参加者に学年ごとに与えられた席題のお手本を披露しました。

参加者は早々に思い思いの場所に新聞紙を敷いて、与えられた席題を元氣いっぱい筆をはしらせていました。

学年ごとに与えられた席題は次のとおりです。

- 幼児 「こたつ」
 - 一年 「あさひ」
 - 二年 「はごいた」
 - 三年 「うめの花」
 - 四年 「元日のあさ」
 - 五年 「北風の子」
 - 六年 「新年の出発」
 - 中一 「万山春色帰」
 - 中二・三 「北国の大自然」
 - 一般 「万国春風百花舞」
 - 一般 「鳥啼春日遅」
- 審査は午後から行われ次の方々が入選されました。
- 金賞
 - ▼山本ひろくに(幼稚園)▼木村文佳(小一)▼森康博(小二)▼森久美子(小三)▼中

- 川良恵(小四)▼野口ひとみ(小五)▼武井里美(中一)▼藤田裕子(中二・三)
- 銀賞
- ▼武井歩里(幼稚園)▼川内智浩(小一)▼森仁美(小一)▼中川由香(小二)▼工藤幸樹(小二)▼森倫子(小三)▼柿崎砂都子(小三)▼木村香(小四)▼森喜郎(小五)▼田中富子(中一)▼大宮千尋(中一)▼福浦佳奈子(中一)▼越田美智子(中二・三)▼伊豫部美希子(中二・三)▼坂本豊(一般)▼木村光枝(一般)

おめでとうございます。

交通災害共済に!!

家族そろって加入しましょう。

- 会費は、一年間で一人350円です。
- 加入申し込みは、役場総務課までどうぞ!

ねばり強く

白くてきれいな心を持つ

子どもになろう!

蓬田小学校もちつき会

十二月十九日(木)小学校体育館において、村農協青年部(吉崎治八部長)とPTAの父母の協力を得てもちつき会が行われました。

農協青年部では、米の消費拡大を目的に実施したのが始まりで、今では冬休み前の恒例行事として定着したため、子どもたちは、きねを振り上げてつくもちつきをととも楽しんでおられます。

この日は朝早くから体育館にうす四台が準備され、もち米九十*を用意して二十うすをつき上げました。

はちまき姿もりりしくうすをぐるりと取り囲み児童会長の合図で、威勢の良い掛け声

とともにもちつきが始められました。

また、会場では太鼓クラブの会員による玉松太鼓演奏で景気を付け、子どもたちも先生も飛び入りでもちつきを体験しました。

つき上がったもちはず速に、お母さんの手できな粉もち、お汁粉、雑煮などに作られ、全員で「ねばり強く、白くてきれいな心を持つ子どもになろう」と願いを斉唱してからもちを食べました。

おいしいと何杯もおかわりして、三種類のもちを食べる子もいるほど、楽しいもちつき会となり、冬休み前恒例の行事を閉じました。



シニア洋上セミナーに参加して

越田久治(瀬辺地)

「あおもりシニア洋上セミナー」が、十一月三日から六日までの三泊四日の日程で行われました。

このセミナーは、高齢者の生きがいと社会参加活動への意欲を高めることを目的に、八戸港から東京・晴海ふ頭までの洋上研修と日光見学などの陸上研修を行ったもので、県内各地から参加した六十歳以上の二百九十九人は、グループ討議、趣味講座、シニアの主張大会、船上フェスティバルなどに積極的に取り組むとともに、県内各地の人たちと交流を深めました。



したが、班長さんや、団員さん

皆さんは高齢者でありましたので話が良く分かって、係の方について来て行きました。

乗船のさいには船で酔う人も出るのではと思いましたが、皆んな元気で一人も酔う人もなく無事に天候に恵まれ組別会議に出席しました。

ふれあいタイムには、分科会の種類に別れて集合して高齢者の各自の日頃実行して来たことを自分なりに発言しました。

待ちに待ったあおもりシニア洋上セミナーに参加して、私達はすばらしく豪華な客船日本丸に乗って洋上セミナーで東京まで行く事が出来たこと、秋晴のシルバー日和、セミナー日和に恵まれ本当に嬉しく思います。

私達高齢者は連絡調整係の指示により、各時間ごとによる行事の伝達は初めての事で東西南北の交流が出来て色

々の話合いになり皆さんほんとうに来て良かったと喜んでいました。

今後このような交流が出来たらと意見交換をして、ボケ老人にならないように、仲間と多くつきあう人、新聞や雑誌をよく読む、よく朝など歩く運動をする人となるように心がけることが大切だと思います。

日赤青森県支部にて 献血協力! 村赤十字奉仕団

お願い! 海岸の写真を貸してください!!

建設省青森工事事務所では、青森海岸事業着工30周年記念事業の一つとして「記念写真集」を発行するため、今、準備を進めています。

この写真集には、《海岸と今の昔を紹介するコーナー》や《各年代の記録コーナー》が設けられることになっていますが、古い蓬田村の海岸に関する写真や資料が足りなくて困っています。

もし、そのような写真や資料をお持ちで、お貸しできる方がございましたら、役場企画課(TEL 27-2111 内線 237)へご連絡をお願いします。

なお、「隣の人が持っている」とか「〇〇さんが持っている」という情報でも結構ですから、来る2月15日までに連絡をいただきますようお願いいたします。

十二月二十日(金)村赤十字奉仕団(張間キヨ委員長)主催の移動研修会に二十七名の参加者があり、日赤青森県支部にて開催されました。当日、午前十時から血液センターを見学した後、日赤青森県支部にて、十三名の方が献血協力しました。

- 田英子、坂本セツエ
- 「長科」
- 松本カチエ、張間あきる、坂本貞子、坂本タミエ
- 「阿弥陀川」
- 中村アサ
- 「蓬田」
- 武井まつ、清水幸子
- 「瀬辺地」
- 飯田まさい
- 「高根」
- 稲葉勝代
- ご協力ありがとうございました。

「中沢」
坂本照代、名古屋きね、藤



談話室

バイアスロン大会を 成功させたい！

今回は、昭和五十六年から村商工会の職員として、また、平成元年の村百周年を記念し

て出来た玉松太鼓の最初からの演奏者として頑張っている清水春明（蓬田）さんに取材しました。



No.48 **がんばる**
清水 春明さん
蓬田

清水さんの商工会での主な仕事は、商工会に加盟している商店や事業所等の方々の経

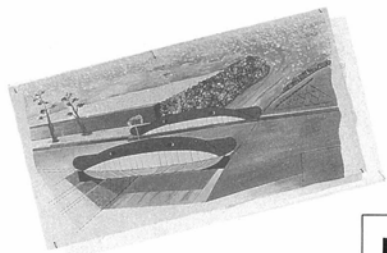
営がスムーズに進み、商売が軌道に乗るために指導したり、村スタンプ会の事務局として、毎年恒例のスタンプ会主催の旅行を計画しては、参加者を全国各地の色々な観光地へ引率して楽しい思い出づくりに役買っております。

また、趣味として始めた玉松太鼓の練習日にはかかさず出では、自分の練習はもとより、後輩の指導も怠りません。

今年の十二月に設立された『バイアスロンINよもぎた』の実行委員会の事務局として、大会を成功させるために大忙しです。

「大会は、今年九月に行われる予定です。村として初めての試みですので、今大会を成功に導くための強力な、高校生以上の男女スタッフを最低五十名位はほしい。協力してくれる方は商工会まで連絡を！」と大会成功に意欲充分です。

玉松太鼓演奏のリーダーとして、「バイアスロンINよもぎた」を成功させようと、また可愛い一歳六ヶ月の幼児の父として清水春明さんは、村の活性化を目指して今日も精力的に頑張る。



板木沢川（瀬辺地）の一番海岸寄りにとっても綺麗な橋が架かります。現在まだ工事中ですが、3月中に完成する予定になっております。橋が完成すると、玉松周辺の海岸線の散歩を楽しむ人達にとっても便利になりそうです。完成しましたら、一度ご覧下さい。

みくつけた
48

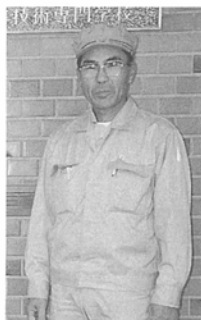
2月行事予定

日	行	事	担
2	東郡スキー大会（三厩村）		村体育協会
4	一歳半児・二歳児健診 13:00	（中央公民館）	民生課
4	低学年学校参観日		蓬田小学校
12	中学年学校参観日		蓬田小学校
12	村消防団初午		村消防団
13	雪上運動会		蓬田中学校
13	珠算検定		蓬田小学校
14	母親教室 9:00	（中央公民館）	民生課
14	成人スキー教室 19:00	（村営スキー場）	社会教育課
16	東郡卓球大会		村体育協会
17	成人スキー教室 19:00	（村営スキー場）	社会教育課
18	股脱健診 9:00	（中央公民館）	民生課
19	成人スキー教室 19:00	（村営スキー場）	社会教育課
20	新入生一日入学		蓬田中学校
21	高学年学校参観日		蓬田小学校
23	村ゲートボール大会		村体育協会
26	新入生一日入学	（村農業者トレーニングセンター）	蓬田小学校

けっばる蓬田人 ④

さるやまは遠くであり

千葉県立市原高等技術専門学校
講師 坂本 勝美さん



蓬田村制一〇〇周年心より
お祝い申し上げます。

村制要覧を拝見し自然と行政の調和のとれた郷土の発展を拝見につけ、先人の努力と苦勞の甲斐があつての近代化し、明るくほのぼのとした暖かみのある様子がうかがわれます。出身者として誇りに思うものであります。

その発展を心から喜ぶとともに今後の御発展をお祈り致します。

歳月の流れは早いもので、昭和十二年に東京。昭和十五年に富山県。昭和三十七年に千葉県。もう五十四年を経過しました。

富山では、サラリーマンの傍ら民謡舞踊と生花(秀芳)を趣味として行い、千葉では野球の監督もし、現在は、千葉県市原支部野球協会審判部に所属し、日曜ごとに趣味として遊んでおります。また、千葉県立市原高等技術専門学校

の講師を行っております。昭和二十一年に結婚し、現在は七人の孫に囲まれた老後を送っております。

物事はやれば出来る。気の持ちかた次第と自分の心にかせながら頑張ろうと無我夢中でした。

専門学校には、十五歳から六十歳の生徒(二百名)がおります。私の担当は十五歳より十八歳までで、三十名。社会に出て安全作業で他の人に負けない技術を身に付けた卒業生として、指導に励み努力しております。

昭和十三年度、中沢小学校卒業生クラス会へ参加のため、中沢に帰省しておりますので、今後もしよろしくお願い致します。

最後に蓬田村のますますの



めも

▶ 現住所 / 千葉県市原市大厩1393~10
☎0436(74)1297 ▶ 生年月日 / 大正14年3月30日 ▶ 出身 / 中沢 ▶ 妻・茅子・長男・明美・嫁・京子・孫・順一(高一)孫・賢司(中2)孫・智美(小5)
▶ 好きなもの / 生花・舞踊・野球 ▶ 経歴 / 昭和12年東京都 / 昭和15年富山県 / 昭和37年千葉県転勤 / 昭和56年定年退職 / 昭和58年コスモ石油(平成2年退職)千葉県立市原高等技術専門学校講師(平成3年)~現在に至る。

御発展と村民皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

戸籍の窓



人口と世帯数 (12月31日現在)

総人口 4,108人
男 1,971人
女 2,137人
世帯数 1,047世帯

12月受付分

お誕生おめでとうございます

相坂 亘紀 (洋一 隆子) 2 男

福井 徹 (登志美 よし子) 長 男

若佐 美香 (晃 裕子) 長 女

ご結婚おめでとうございます

(青木 清光(阿弥陀川)
今 睦子(青森市)

おくやみ申し上げます

八幡 ナカ(高根 87歳)

小笠原喜一(蓬田 83歳)